



学校紹介 ～その31～

阪神丹有地区生活体験発表会について①

9月14日(土)三田市総合福祉保健センターにおいて、「第63回阪神丹有地区高等学校 定時制生徒 生活体験発表大会」が実施されました。

今年度は3年生徳島沙綺さんと4年生橋本歩美さんが本校代表として出場しました。



昨年度全国大会に出場した橋本さんは、今年度も県への切符を期待されましたが、結果入賞となりました。初めて出場した徳島さんも、練習を重ねる度に上達し、本番では今までで1番よい発表でした。

残念ながら2人とも県大会への出場はかないませんでした。ともに練習以上の出来で、素晴らしい発表になりました。



ことが増えて、周りのみんながうらやましく思えてきました。

私は、このままバレエの道に進んでいいのだろうか。正直なところ中国に行くことを決めたのも、「これ以上勉強しなくてもいいし、楽だ」と思ったからで、一生バレエ漬けの人生なんてこりごりだとも思っていました。けれども一方では「そんな適当な気持ちで中国に行ったところで、続かないかもしれない」、「バレエしか知らないままでいいのだろうか。もっとたくさん知識を身につけていろいろなことにチャレンジしたい」とも思っていました。日が経つにつれそんな思いが強くなり、高校受験一ヶ月前になって、私は意を決して進路変更することにしました。

一ヶ月間すごく勉強したけれど、それまでまったく勉強していなかったので、全日制の高校は不合格になりました。ある程度自信を持って合格発表に臨んだので、かなりショックを受けました。今後のことを両親と相談した結果、公立の高校へ進学することを決めましたが、この時点で受験できる学校は定時制高校しかありませんでした。初めは工業高校に進学しようと思っていたのですが、母が普通科のある伊丹市立高校を探してくれ、受験することにしました。

入学前まではしたいことがたくさんあったはずなのに、いざ高校に入ると何からしたらよいかかわからず、目標も持てないまま、すごく無気力になってしまいました。学校ではたくさんのお話を聞いてももらっているのに、私自身に向上心が全くなく、ただ学校に遊びに行くだけでした。そんな生活が二年生の半ば頃まで続きましたが、ある人との出会いをきっかけに、イスラム教に興味を持つようになり、私の考え方はガラリと変わりました。

イスラム教の教えの中で私が特に興味を持ったのは、次の四つのことです。一つ目は、人に優しくすれば、全て自分に返ってくるということ。二つ目は、弱い人ほど我慢ができなくて、強い人は我慢ができるということ。三つ目は、両親をすごく大切にすること。四つ目は、神様はいつも私たちのそばにいて、頑張れば絶対に良いことがあるということです。この四つのことを日常的に意識するようになって、向上心が芽生え、心が穏やかになり、余裕が持てるよ

「自分と、ある出会い」

三年A組 徳島 沙綺

幼稚園からバレエ漬けの毎日を送っていた私にとって、高校進学は遠い存在でした。上海バレエ学校の先生から推薦を受けて、中学卒業後は中国でバレエの勉強をするつもりでいました。しかし、中学三年生の二月頃になると進学に関する授業が増え、友人達も「高校生になったら……」と楽しそうに話す

うになりました。

私は最初イスラム教に対して「縛りが多い宗教だ」というイメージを持っていました。いろいろなルールがあり、守らなければ罰を受けると思っていました。しかし、「その時、自分のできることをすればいい」というアドバイスを受けて、イスラム教についてきちんと勉強してみると、そこまで厳しく難しい宗教ではないことがわかりました。この経験から、先入観やイメージだけで物事を決めつけてはいけません。実際に勉強してみないと物事の本当はわからないのだということを学ぶことができました。

最近学校の先生方やバレエの先生から「何か変わったね」と言われ、以前に比べてほめられることが増えました。私は、これはイスラム教を勉強したおかげだと考えています。

高校二年生の半ば頃から、学校で学ぶことはすごく役に立つことばかりだと思えるようになりました。そして、学校に対する考え方が大きく変わりました。例えば、「現代社会」は、現在の社会の流れを学ぶ科目で、自分の進路選択にもつながる重要な授業です。今という時代が何を必要としているのか、将来どのような仕事が必要とされていくのか。時代の流れを学びながら進路について考えていくことはとても大切なことだと思います。いろいろな授業を通して私は、将来「バレエの指導者になる」という希望を持つようになりました。

私は三修制を利用して来春卒業します。そして、目標であるバレエの指導者になって、子どもの指導に携わりたい。バレエの舞台を作っていく過程は一人一人に責任が求められます。責任が果たされて、初めて舞台が完成します。舞台が完成した時は喜びが大きく、大きな自身になります。バレエを通して、子どもに責任・喜び・自信を伝えたいです。またバレエだけではなく、ラテンやフラダンスなどいろいろなジャンルのダンスを教えられるようにしたいと思っています。体を動かすことを通して高齢者の健康維持やコミュニケーションの場を提供していきたい。そう思っています。

私を支えてくれた多くの人やものの考え方とらえ方を教えてくれたイスラム教、そして、バレエとの出会いを通して、私は大きく成長することができました。



橋本さんの発表内容については次号に掲載します。

9月の行事予定

- 9月25日(水) ……体育祭予行
- 26日(木) ……体育祭
- 27日(金) ……体育祭予備日
- 30日(月) ……カウンセリング



10月の行事予定

- 10月 2日(水) ……人権教育行事
(いたみホール)
- 7日(月) ……人権教育研修会(職員)
カウンセリング
- 9日(水) ……人権HR
- 12日(土) ……生活体験発表大会(県)
- 15日(火)
- ~18日(金) ……中間考査
- 20日(日) ……阪丹秋季総体
- 21日(月) ……カウンセリング
- 23日(水)
- ~25日(金) ……第3学年修学旅行
(東京方面)
- 28日(月) ……カウンセリング
- 30日(水) ……アートセラピー

編集後記

台風18号の猛威。桂川の氾濫。濁流に飲まれる渡月橋。普段は観光客であふれかえる景勝地が見るも無惨な姿に。「渡月橋が流されてしまう」とははらしたの私だけでしょうか。

「これまでに経験したことのないような大雨」や「特別警報」など、耳慣れない表現が使われるほど、地球レベルでの環境変化が起こっているようです。

夜空に輝く月を望みながら、ゆったりとお茶と団子を楽しむ秋の宵は、いつまで続けられるのでしょうか。

